

NO.12

分科会名称	働く女性の不定愁訴や不妊などのホルモン不調に対する専門サポート
代表者	笠 淑美 (一般社団法人ウェルネスサポートLab)
メンバー (またはメンバーの所属団体等)	笠 淑美 他
所在地	福岡市
分科会の目的	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化社会の到来により働き手の確保が急務となり、その担い手として女性のマンパワーが期待される状況下にあるが、女性の体と心、社会環境（結婚、妊娠、妊娠出産、子育て、夫の転勤、介護、終活等）に対応したきめ細かなサポートサービスが不足している。 ・働く女性2474万人中、婦人科疾患を抱える女性は17.1%、女性の一人当たりのあたりの年間医療費33.5万、半数以上の女性が「ホルモン不調による生産性の低下を感じる」という意識調査結果（2016年二本医療政策機構調査）や今度不妊治療費の保険適用の動きなどからも、これらの女性特有の問題が離職の要因となることも多く、様々な問題から継続的なキャリア形成が困難な状態にある。 ・また女性のキャリアストップ・タウンの要因やきっかけ等の有用な情報源が少なく、リアルな現状把握が困難な状況にある。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の持続可能なキャリア形成の第一歩として、リアルな声、データの収集・女性特有の身心の不調をキャッチするサポート体制の構築 ・次段階では、身心不調に対するコントロール法と一緒に考え、行動し、日常化するまでの伴走サポート体制の整備・ホルモンバランスや生活環境に合わせて、持続的にキャリアを形成し、結果生き生きとした人生を送ることができる環境設計 ・男性社員が「女性の身心不調」の状態と原因についての理解を深めることで、企業内の働きやすい環境設計 ・女性の健康問題、持続可能なキャリア形成は（体×心×社会環境）など様々な問題が複雑に絡み合い、かつ長期的に形成されてきたものが多く、既存の単体かつ短期的なサービスによるサポートでは解決に至ることが少ない。そこで長期的、包括的なサポートを行うために様々な専門家チーム、企業とコラボできる連携システムの構築
目指したいゴール	<ul style="list-style-type: none"> ・女性がこれまで企業に対し言語化してこなかった「女性特有のホルモン不調や、不妊治療や家族の看護、介護問題やその他の社会環境による不具合や不安」を明確にすることにより、企業も自身の課題として取り組む体制の構築 ・企業や仲間が自身の問題に対して取り組む姿勢を感じ取ること、女性スタッフが働き甲斐やゆとりが生まれ、継続的な雇用が生まれるだけでなく、企業イメージの向上へつながる ・女性が様々な不調や生活環境について共有できる職場環境となれば、他スタッフも同様の様々な問題を共有しやすく、キャリアの継続が行え、会社全体の働き甲斐や働く雰囲気向上し、経営改善にもつながる ・多数の団体や企業が「持続可能なキャリア形成」に関わるシステムを構築することにより、関わる双方にとって「スタッフの働き甲斐」「企業の経済成長」を創出し、日常化できる状態
関連するSDGs目標	3
活動計画	<p>実施時期：随時</p> <p>活動内容：女性が相談しやすい「いつでも」「何度でも」「わたしたけの」に対応した24時間チャット方式の相談窓口で、「不調・不安のあれこれ」をナースの専門性であるコミュニケーション能力でキャッチし、解決法を提案します。ナースの専門外、深いかわりが必要な時には、協力団体や専門家によるカウンセリング（オンライン、オフライン対応）や他専門関連施設やサービスへアテンドします。その際も担当ナースが該当サービス実施者・施設と情報共有を行います。</p> <p>実施体制：①企業チャットツールの導入②一人に専属ナース（2～300人/ナース担当可能）が担当することで、継続的なサポートを行う③月末に企業に匿名でのレポート提出</p> <p>その他：主旨に共感いただける専門家や団体への協力要請、また「女性スタッフの継続的な雇用」に関心のある雇用主（企業）とのモニタリングなどの協力要請の機会がいただける幸いです。</p>
フォーラム会員へのメッセージ	準備中
TEL	080-5248-9673
E-mail	info@wellsuppo.or.jp

※本内容は、提案者からの申請書に、事務局にて行った提案者への聞き取り結果を付記しています。